

救命救急センター

定光大海

総合救急部は主に三次救急を担ってきた。三次救急のホットラインを通じて受け入れる患者のなかでは外傷例が最も多く、外因による重症患者の受入れを特徴とした救命救急センターとして内外で広く認知されてきた。救急患者の受け入れ拒否やたらい回しという事態に対処するため、時間外に多くの二次・三次救急医療機関で断られた患者を引き受ける大阪府コーディネート事業にも参加しているが、医療の根の深い問題に直面している。受け入れ困難な場合も多く、救急要請の増大に全て対応するのが難しいのも課題である。

救急救命士を含む救急隊員の病院前医療活動の質を保証するメディカルコントロール（MC）や政策医療の一つである災害医療も主要な任務である。救急救命士への特定行為（気管挿管など器具を用いた救急蘇生）の指示には24時間365日対応している。救急救命士の病院実習や症例検討会、大阪市の救急搬送事例の事後検証、MCに従事する医師の研修（全国）にも労力を割いている。

災害医療では、DMAT (Disaster Medical Assistance Team)としての対応や放射線災害に対する緊急被ばく医療を主要な業務として、広域の共同研究や災害訓練にかかわってきた。大阪 DMAT 隊員養成、災害拠点病院災害従事者研修などにも継続的に参加している。平成23年3月12日に発生した東北地方太平洋沖地震ではDMAT2 チームを現地に派遣、花巻空港と仙台医療センターで医療支援を行った。現地から帰阪した被ばく疑いの方への対応も行った。災害訓練を普段から行っていたため迅速な対応ができたと考えている。

院内では危機管理の一環として、予期せずに生命の危機的状態に陥った入院患者などの治療支援である Blue Call に主体的に関わっている。アクシデントに直結する事態を未然に防ぐことに貢献している。

研究テーマも必然的に三次救急の代表的な多発外傷、中毒、熱傷、多臓器不全に関連し、国際的な臨床治験にも参加している。病院前救急医療や災害医療なども社会的に重要なテーマで、国立病院機構多施設共同研究や厚生科学研究に共同研究者として参加している。

これまで医師の増員とともに活動範囲を少しずつ拡大してきたが、本年度はスタッフ減で苦しい年になる。人材確保と診療機能の維持が目標である。

【2010年度研究発表業績】

A-3

定光大海:救命救急センターからの報告—救急医療と慢性期医療の連携—「JMC」18(68):P.20-24、2010年4月

廣瀬智也、前野良人、大西光雄、西野正人、白鴻成、若井聡智、金原太、米満弘一朗、定光大海: Damage Control Surgery 後の消化管再建が困難であった鈍的腹部外傷の1例「日本外傷学会雑誌」24(3):P.346-350、2010年7月

定光大海:天然ガス・プロパンガス中毒「今日の治療指針」山口徹、北原光夫、福井次矢、53:P142-143、

2011年1月

B-4

湯本哲也、金原太、大西光雄、前野良人、白鴻成、西野正人、定光大海：IIIb型肝損傷のTAE後に総肝動脈から左右肝動脈に多発性肝動脈瘤を認めた一例。第24回日本外傷学会、千葉、2010年5月

前野良人：「切迫するD」症例における頭部CT施行タイミングの検討。第24回日本外傷学会、千葉、2010年5月

若井聡智、大西光雄、石田健一郎、湯本哲也、金原太、西村哲郎、西野正人、定光大海：当センターにおける医療帰還症例の検討。第13回日本臨床救急医学会総会、千葉、2010年5月

曾我部拓、立野里織、島原由美子：Damage Control Orthopedicsが集中治療に与える影響。日本麻酔科学会第57回学術集会、福岡、2010年6月

西村哲郎、金原太、石田健一郎、湯本哲也、曾我部拓、立野里織、島原由美子、若井聡智、前野良人、白鴻成、定光大海：熱傷ガーゼ交換の前後でのAPCO・SVVの変化。第38回日本救急医学会総会、東京、2010年10月

湯本哲也、前野良人、曾我部拓、立野里織、金原太、島原由美子、若井聡智、西村哲郎、白鴻成、定光大海、廣常秀人：当院における自殺未遂者の転機への検討。第38回日本救急医学会総会、東京、2010年10月

石田健一郎、前野良人、西村哲郎、曾我部拓、立野里織、金原太、島原由美子、若井聡智、白鴻成、定光大海：当院救命救急センターにおける穿通性頸部損傷例の検討。第38回日本救急医学会総会、東京、2010年10月

島原由美子、曾我部拓、立野里織、金原太、若井聡智、西村哲郎、前野良人、上尾光弘、白鴻成、定光大海：救命救急センターにおける緊急気道確保症例の検討。第38回日本救急医学会総会、東京、2010年10月

前野良人：当センターにおける腕神経叢損傷症例の検討。第38回日本救急医学会総会、東京、2010年10月

白鴻成、定光大海、上尾光弘、前野良人、西村哲郎、島原由美子、若井聡智、金原太、立野里織、曾我部拓、石田健一郎：多発外傷患者の脛骨骨折に対するMETAネイルセミエクステンションガイドの使用経験。第38回日本救急医学会総会、東京、2010年10月

立野里織、前野良人、西村哲郎、曾我部拓、金原太、島原由美子、若井聡智、上尾光弘、白鴻成、

定光大海：重症頭部外傷患者における頭蓋内感染症の危険因子の検討。第 38 回日本救急医学会総会、東京、2010 年 10 月

金原太、前野良人、西村哲郎、島原由美子、若井聡智、上尾光弘、白鴻成、定光大海：高 CK 血症症例に対し血液浄化療法は必要か。第 38 回日本救急医学会総会、東京、2010 年 10 月

島原由美子、湯本哲也、曾我部拓、立野里織、金原太、定光大海：急性薬物中毒症例に合併した肺炎の検討。日本集中治療医学会学術集会、神奈川、2011 年 2 月

曾我部拓、湯本哲也、立野里織、金原太、島原由美子、定光大海：低体温療法を施行した蘇生後患者の神経学的予後予測因子の検討。日本集中治療医学会学術集会、神奈川、2011 年 2 月

湯本哲也、島原由美子、曾我部拓、立野里織、金原太、定光大海：急性出血性直腸潰瘍の 3 例。日本集中治療医学会学術集会、神奈川、2011 年 2 月

B-6

島原由美子、下野圭一郎、湯本哲也、曾我部拓、立野里織、金原太、定光大海：外傷治療中に間質性肺炎を合併し急性呼吸促迫症候群を呈した 1 例。第 55 回日本集中治療医学会近畿地方会、大阪、2010 年 6 月

石田健一郎、若井聡智、下野圭一郎、湯本哲也、岡嶋祥憲、曾我部拓、立野里織、前野良人、上尾光弘、西村哲郎、島原由美子、金原太、白鴻成、定光大海：意識障害を認め、診断に難渋した脊髄梗塞の一例。第 102 回近畿救急医学研究会、大阪、2010 年 7 月

下野圭一郎、石田健一郎、湯本哲也、曾我部拓、立野里織、島原由美子、金原太、若井聡智、西村哲郎、前野良人、白鴻成、定光大海：骨盤骨折後に脂肪塞栓症候群が疑われた一例。第 102 回近畿救急医学研究会、大阪、2010 年 7 月

石田健一郎、前野良人、上尾光弘、下野圭一郎、湯本哲也、岡嶋祥憲、曾我部拓、立野里織、西村哲郎、若井聡智、島原由美子、金原太、白鴻成、定光大海：加圧バッグ内のヘパリンにより II 型ヘパリン起因性血小板減少症を来した 1 例。第 102 回近畿救急医学研究会、大阪、2010 年 7 月

岡嶋祥憲、下野圭一郎、湯本哲也、石田健一郎、曾我部拓、立野里織、島原由美子、若井聡智、西村哲郎、前野良人、上尾光弘、定光大海：ポリウレタンフォームを用いたタイオーバー法の試み。第 19 回日本熱傷学会近畿地方会、大阪、2011 年 2 月

岡嶋祥憲、前野良人、下野圭一郎、湯本哲也、石田健一郎、曾我部拓、立野里織、島原由美子、若井聡智、西村哲郎、上尾光弘、定光大海：インフルエンザワクチン接種後に間質性肺炎を発症した 1 例。第 103 回近畿救急医学研究会、京都、2011 年 3 月

下野圭一郎、立野里織、岡嶋祥憲、石田健一郎、湯本哲也、曾我部拓、島原由美子、若井聡智、西村哲郎、前野良人、上尾光弘、定光大海：急性薬物中毒の入院経過中に急性発症した静脈洞血栓症の一例。第103回近畿救急医学研究会、京都、2011年3月